こんな 活動です

多くの人との交流や豊かな体験を子供たちに! -おくのキャンパス地域学校協働活動を通して-

茨城県牛久市

●活動名

●関係する学校名

おくのキャンパス地域学校協働本部

牛久市立奥野小学校 牛久市立牛久第二中学校



#MARCHELESSOPEE おくのキャンパスコミュニティ・スクール 牛久第二中学校 奥野小学校 地域学校協働 活動推進員 制 地区社協 まつり担当 地 ホームスティ 学校運営協議会 担当 カッパ塾担当 各種学校 企業 本部 小規模特認校 PTA 児童生徒支援

●連絡先 牛久市教育委員会 放課後対策課

☎ 029-873-2111

奥野地区は奥野小学校, 牛久第二中学校, おくのさくらふれあい保育園を「おくのキャンパス」とし, 保小中一貫教育を推進している。「おくのキャンパス」では, 少子化・人口減少に対応するため, 小規模特認校制度の導入と国際理解環境・郷土教育を核とした特色ある教育活動を展開することで, 児童生徒を増やし, 学校存続によって地域創生につなげようと取り組んでいる。そのような中, 平成27年度にコミュニティ・スクール推進委員会を立ち上げ, 2年間の準備期間を経て, 平成29年3月に奥野小学校, 牛久第二中学校に「おくのキャンパス学校運営協議会」が設置された。子供たちが多くの人との交流を通して豊かな経験ができるように学校運営協議会で協議され, 地域学校協働活動として, 地域の人とともに実践できる体制を構築している。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①土曜カッパ塾とSunday Okuno Kappa Academy(通称:日曜カッパ塾)・・土曜カッパ塾は検定試験(英検・漢検)に向けた学習支援とダンス教室、日曜カッパ塾は地域の方や地元の企業、NPOを講師として多種多様な体験活動を実施。
- ②ふれあいまつり・・以前は学校の企画運営による祭りだったが、地域学校協働活動として地域主体の祭りに移行中。ふれあいまつり実行委員会を組織して、学校と地域の連携を密にし、保小中の交流や地域との交流の場として実施。
- ③英語活動の支援・・海外交流先からのホームスティ(H29年度実施)の受入先の調整,滞在中の留学生のサポートやさよならパーティーの企画運営。また,地域の英会話ボランティアと共に行う週3回イングリッシュタイムの実施。
- ④放課後カッパ塾・奥野小は週2日、牛久二中は週3日、地域の方が指導員となり、放課後に無料学習塾を実施。

【実施に当たっての工夫】

- ・地域学校協働活動推進員が学校運営協議会委員となり,学校の教育方針や目指す児童生徒像を共有化した上で,教育ビジョンに沿った地域学校協働活動を展開している。
- ・牛久市では平成27年度から地域学校コーディネーター養成講座を実施し,人材育成を行ってきた。現在,小中学校に推進員が委嘱されている。おくのキャンパスでは,5名がそれぞれの得意分野を生かし,チームで活動を実施している。
- ・地域学校協働活動の実施にあたっては,地域との連携を密に実施しており,特に,地域サークル(料理や折り紙,読み聞かせ等)や子供たちに関わる身近な人々,NPO法人や地域の企業等,社会総掛かりで子供の学びを支える仕組みを構築している。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- 〇子供たちにとっては,様々な体験や多様な人々との交流から地域の方に認められる機会が増え,自己肯定感が高まった。また,留学生との交流や英語活動を通して,多くの子供たちが英語を好きになり学習していることがわかった。
- 〇学校にとっては、ホームステイの受入やふれあいまつりの運営など、学校から地域へ企画運営が移行することで学校の役割が明確となり、教職員の負担軽減につながった。
- 〇地域住民にとっては、子供たちと関わる活動を通して、人とのつながりが深まり、地域ネットワークが広がった。学校が生涯学習の場となり、地域の人にとっても、良い学びの場となっている。子供たちの成長に主体的に関わろうとする地域の方が増えてきた手ごたえを感じる。

● その他

・他にも地域学校協働活動として、地域の方が中心となった読み聞かせボランティアや歩く会ボランティア、クリーン作戦ボランティア、学習ボランティア等があり、児童生徒のために様々な支援活動を実施している。



らパーティーしたホームステイのさよな地域の方の手料理でもてな



おくのふれあいまつり地域の交流の場となった